

## 平成 30 年度事業計画について

豊かな自然と美しい都市景観を持ち、歴史を刻みながら発展してきた神戸市は、文化事業の基本理念として「文化創生都市宣言」を行い、芸術文化の創造と発信を強化するとともに、市民が主体となった文化活動への支援に取り組むことで、芸術文化の薫りあふれるまちづくりを進めてきた。

このような中、当財団は、神戸をさらなる高みへと押し上げるため、市民とともに喜び合える文化事業や市民参加型の事業を実施し、都市の魅力や活力を支える資源として文化芸術の振興に取り組んでいる。

平成30年度は、神戸国際フルートコンクールの優勝者によるリサイタルや市民オペラ、CLASSIC PLUSなど、音楽の魅力を力強く発信する「(仮称)神戸冬の音楽祭」を中心に、多くの市民に参画していただく事業を幅広く展開していく。

### 【主な事業内容】

#### (1) 神戸市室内管弦楽団として新たな活動を展開

多くの市民から親しまれ、「私たちの楽団」として市民が誇れる楽団を目指している神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団は、質の高い音楽芸術を通じて、神戸市のシティプロモーションに貢献する活動を引き続き行っていく。

また、平成30年度よりホルン・オーボエ奏者を加え、楽団名を神戸市室内合奏団から「神戸市室内管弦楽団」に改めるとともに、インリーチやアウトリーチ、まちなかコンサートを開催し、両楽団の周知・魅力発信につなげる。

#### (2) 「(仮称)神戸冬の音楽祭」の開催

「第9回神戸国際フルートコンクール」の優勝者リサイタルやオーデションで選出された市民を中心として作り上げる市民オペラ「オペラ de 神戸」、神戸ゆかりの音楽家を招聘し、ファッション、スイーツなどとコラボレーションさせクラシック音楽の普及を図る「CLASSIC PLUS」など、さまざまな音楽事業を連携させた冬の一大イベント「(仮称)神戸冬の音楽祭」を開催し、神戸の街の活性化を図る。

#### (3) 地元経済界とともに実現する神戸文化の創造発信

神戸の文化を地元経済界とともに盛り上げ、発信していくため、地元経済界を中心として構成する(仮)神戸文化振興パートナーズクラブ(愛称:シーガルクラブ)の立ち上げに協力し、過去のフルートコンクール入賞者や神戸出身のアーティスト等による演奏会、ジャズや市民オペラ等神戸らしい芸術文化事業への支援等により神戸文化の創造発信に繋げていく。

#### (4) 「ART LEAP 2018」の開催

ヴェネチア・ビエンナーレ日本館コミッショナーや横浜トリエンナーレでアーティストック・ディレクターなどを歴任された建畠哲氏を審査員に、中堅作家を対象にした公募企画展覧会を実施し、中堅作家の作品創作及び発表の機会を創出する。

## ＜公益目的事業＞

### 1 文化振興事業

#### (1) 事業方針

- ・市民の文化向上に資する質の高い鑑賞型事業の提供
- ・芸術文化による神戸ブランドの創造発信
- ・市民参加型芸術文化事業の充実
- ・地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援
- ・情報収集・提供の充実（多様な文化芸術の紹介）
- ・芸術文化を担う人材の育成

#### (2) 事業内容

- ① 市民の文化向上に資する質の高い鑑賞型事業の提供  
市民に感動を与え、感性や創造性を育む質の高い芸術を鑑賞出来る機会として、第9回神戸国際フルーツコンクールの優勝者によるリサイタルなどを開催する。また、病院等においてプロのアーティストによるアートプログラムに触れる機会を創出し、ホールに来ることが困難な人に対しても鑑賞機会の提供を図る。
- ② 芸術文化による神戸ブランドの創造発信  
「(仮称)神戸冬の音楽祭」を開催するほか、来年秋に予定する「(仮称)市街地西部芸術祭」、また3年後の「第10回神戸国際フルーツコンクール」に向けた準備など、市との連携を図り、神戸ブランドの創造発信を行う。また、「ジャズの街神戸」推進協議会の事業では、「神戸ユースジャズオーケストラ」の活動推進や、「KOBE JAZZ DAY 2018」等に取り組む。
- ③ 市民参加型芸術文化事業の充実  
市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「オペラ de 神戸」では市民合唱団を公募するなど、市民参加型事業を展開する。
- ④ 地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援  
神戸文化の基盤となっている地元芸術文化団体の活動を支援するとともに、協力関係の強化を図る。また、「神戸市吹奏楽祭」、「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL」などを通じて、今後の神戸文化の担い手となる若手人材の育成を支援する。
- ⑤ 情報収集・提供の充実  
多種多様な芸術文化活動を広く紹介するため「KOBE C情報」を発行するとともに、SNSを活用するなど、情報発信機能の強化を図る。
- ⑥ 芸術文化を担う人材の育成  
各種事業を通じて、アートマネジメント能力の深化や向上を図るなど、「担い手」の養成・機会確保に努める。

### (3) 文化振興事業一覧

(単位：人)

事業名		開催時期	開催場所	入場者数	
音	第9回神戸国際フルートコンクール 優勝者記念コンサート(Ⅰ)	7/13	神戸文化ホール	450	
	「ジャズの街神戸」発信事業	4月～3月	市内各所	5,000	
	神戸ジャズ物語	7/27	ありまホール	450	
	神戸ジャズ道場	8/2～8/4	神戸セミナーハウス	—	
	JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL	8/17～19	神戸文化ホール	4,000	
	神戸ジャズストリート	10/6, 7	北野町周辺	3,200	
	全日本シャンソン・ ポピュラーコンクール2018	東北4/27 九州5/12 神戸5/12 中部5/17 東京5/17 北海道 未定	生田文化会館他	1,200	
		セミファイナル6/2	うはらホール	400	
		ファイナル9/22	神戸文化ホール	600	
		60歳からのデビュー 「あなたにシャンソンを」	7/17, 18	あじさいホール	600
	楽	神戸フィルハーモニックの支援	4月～3月	神戸文化ホール	3,000
		舞コンサート	9月～3月	あじさいホール他	600
		神戸市吹奏楽祭	4/29, 11/3	神戸文化ホール	5,000
		母親コーラスの育成	6/13, 12/6, 12/7	神戸文化ホール他	1,700
室内楽名曲シリーズ		7月～11月	うはらホール他	700	
アンサンブル・ラロ演奏会		10/19	うはらホール	400	
冬の音楽祭		CLASSIC PLUS 特別演奏会	2/16	神戸文化ホール	600
		第9回神戸国際フルートコンクール 優勝者記念コンサート(Ⅱ)	2/23	神戸文化ホール	450
	オペラde神戸「ラ・ボエーム」	3/2・3	神戸文化ホール	3,000	
演劇・舞踊	神劇まわり舞台	4月～3月	市内各所	2,000	
	こうべ全国洋舞コンクール	5/1～5/5	神戸文化ホール	4,000	
	さわってみよう能の世界	3月	湊川神社神能殿	200	
その他	コードモアートプログラム	4月～3月	市内各所	—	
	医療＋アート	4月～3月	医療産業都市内	1,200	
文化振興事業合計				38,750	

## 2 演奏事業（神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団）

### （1）事業方針

- ・神戸文化ホールおよび区民ホール等における質の高い演奏の提供
- ・演奏水準のさらなる向上
- ・広報強化・アウトリーチの実施による両楽団の周知
- ・自主公演への集客強化と新たな依頼公演の獲得

### （2）事業内容

#### ① 神戸市室内管弦楽団

神戸市室内管弦楽団では、国内外で活躍する指揮者・ソリストをゲストとして招聘し、演奏会の充実を図る。定期演奏会では「新しい音楽への希求、3つの世紀それぞれの場合」をシーズンテーマに、下記の魅力的なゲストとともに公演する。

また、3カ年事業の2年目を迎える「CLASSIC PLUS」では、神戸ゆかりの演奏者を追加（プラス）して招聘するとともに、神戸タータンやスイーツなどとコラボレーションした演奏会や事前講座、高校・商店街などへのアウトリーチを実施する。

#### 《神戸市室内管弦楽団定期演奏会》

6月	ゴットリーブ・ヴァリッシュ（ピアノ）、イエルーン・ベルワルツ（トランペット）
9月	リュウディーガー・ボーン（指揮）、寺谷千枝子（メゾソプラノ）
12月	鈴木秀美（指揮・チェロ）
3月	石川星太郎（指揮）、久元祐子（ピアノ）

#### ② 神戸市混声合唱団

設立30年を迎える神戸市混声合唱団は、昨年10月に音楽監督に就任した松原千振のもと、秋の定期演奏会では、国内外で活躍する指揮者佐藤正浩を招聘し、ロッシーニの「小荘厳ミサ曲」の演奏を行う。春の定期演奏会では、エストニア人指揮者トヌ・カリユステを指揮に演奏会を行う。また区民センターなどで行う公演では、新たなファン層獲得のため趣向を凝らした公演を開催する。

#### 《神戸市混声合唱団定期演奏会》

9月	佐藤正浩（指揮）
3月	トヌ・カリユステ（指揮）

#### ③ 両楽団の周知・魅力発信の取り組み

商店街や集客力のあるショッピングモールなどでまちなかコンサートを行い、両楽団の周知および魅力を発信するとともに、主催公演への集客や新たな依頼公演の獲得につながるよう、効果的なプログラムの検討および営業活動に取り組む。

また、次代を担う子ども達に対する鑑賞機会の提供のため、小学生を神戸文化ホールに招待する「インリーチ事業」、小学校で出張演奏を行う「アウトリーチ事業」を継続して実施する。

(3) 事業一覧

【自主公演】

(単位：人)

事	業	名	開 催 時 期	開 催 場 所	入場者数
神戸市室内管弦楽団	定期演奏会		6/9	神戸文化ホール (中)	600
			9/22	神戸新聞松方ホール	450
			12/1	神戸文化ホール (中)	600
			3/24	神戸文化ホール (中)	600
	東京公演		3/22	紀尾井ホール	500
	夏のセレナーデ星空コンサート		7/28	あじさいホール	200
	あなたに贈るコンサート		5/26	すずらんホール	300
			5/27	うはらホール	400
			8/25	なでしこホール	300
			2/2	灘区民ホール	300
		2/3	ありまホール	300	
	海のコンサート		11/16, 12/14	あじさいホール	400
わがまちコンサート ピフレ		4/20, 10/12, 1/6	新長田ピフレホール	800	
CLASSIC PLUS 特別演奏会		2/16	神戸文化ホール	600	
神戸市混声合唱団	定期演奏会		9/16	神戸文化ホール (中)	600
			3/10	神戸文化ホール (中)	600
	あなたに贈るコンサート		6/24	ありまホール	300
			9/30	なでしこホール	300
			11/18	灘区民ホール	300
			1/27	うはらホール	400
	海のコンサート		4/13, 5/11, 7/20 10/19, 2/15	あじさいホール	1,000
わがまちコンサート ピフレ		6/8, 8/10, 12/7	新長田ピフレホール	800	
合同	文化ホールインリーチ事業		7/5	神戸文化ホール (大)	3,000
	室内・混声合同定期演奏会		10/28	神戸文化ホール (中)	600
	1. 17 祈りのコンサート		1/17	神戸文化ホール (中)	600
演奏事業合計					14,850

【依頼公演】

事	業	名	開 催 時 期	開 催 場 所
室内管弦楽団	ふきのとうコンサート（札幌）		6/12	ふきのとうホール
	ろうきんコンサート		11/19, 20, 21	神戸文化ホール他
	その他の演奏会		4/1～3/31	20公演程度
混声合唱団	マンスリーミニコンサート		毎月第2日曜日	しあわせの村研修館ホール
	ハーモニーホール合唱の祭典		7/29	赤穂市文化会館
	シルバー合唱コンクール		9/14	神戸文化ホール
	その他の演奏会		4/1～3/31	40公演程度
合同	神戸婦人大学ウェルカムコンサート		4/5	神戸文化ホール
	オペラde神戸		3/2, 3	神戸文化ホール

### 3 神戸文化ホール公演事業

#### (1) 事業方針

- ・文化ホールを拠点とした芸術創造・発信事業の積極的な展開
- ・優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供及び鑑賞教室や解説セミナーなどの実施
- ・財団のネットワークを活用した市民・芸術家・文化団体などとの交流及び連携事業の実施

#### (2) 事業内容

##### ① 芸術創造・発信事業

神戸市室内管弦楽団及び神戸市混声合唱団の公演や神戸の文化発信の基盤である地元芸術団体、また文化の担い手である若手芸術家に発表の機会を提供するとともに、市民の参加や地域との連携を図り、文化拠点としての機能充実につながる事業を展開する。

また「創造・発信」への取り組みをより発展させていくために、制作や技術面でのスタッフの能力向上に努める。

##### ② 教育普及・育成事業

能、狂言、歌舞伎の鑑賞教室や解説セミナーを実施して、世界に誇る伝統芸能を学ぶ機会を提供する。国内外で活躍する一流の舞踊家や演出家から直接レクチャーを受けられるアウトリーチを実施し、一人でも多くの市民に芸術に触れる喜びを伝えていく。また、市内の小学生を招待する劇団四季「こころの劇場」の継続実施により、文化・芸術の普及に貢献する。

##### ③ 鑑賞型事業

国際的にレベルの高い公演や、民間興行では実現しにくい公演などを中心に、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。

具体的には、約20年ぶりの大駱駝艦神戸公演のほか、44回目を迎える「東西落語名人選」や「松竹大歌舞伎（座頭 片岡愛之助）」など開館当時から続く伝統的な公演を継続するとともに、映画事業「文化ホールキネマ」の拡充に努める。

## (3) 神戸文化ホール事業一覧

(一部再掲)

(単位：人)

事業名	開催時期	公演数	開催会場	入場者数
芸術創造・発信事業	22事業	32公演		14,240
神戸市室内管弦楽団定期演奏会	6/9	1	中ホール	600
オカリナフェスティバル in 神戸	8/25, 26	2	中ホール	1,000
神戸市混声合唱団定期演奏会	9/16	1	中ホール	600
神戸市室内管弦楽団 / 神戸市混声合唱団 合同定期演奏会	10/28	1	中ホール	600
和太鼓松村組コンサート	10/27	1	大ホール	1,100
神戸市室内管弦楽団定期演奏会	12/1	1	中ホール	600
貞松・浜田バレエ団特別公演 くするみ割り	12/22, 23	2	大ホール	3,000
市民の第九	12/8	1	大ホール	1,500
青春落語道場『大倉亭』新春寄席	1/5	1	中ホール	470
1.17 祈りのコンサート 2019	1/17	1	中ホール	700
P R A Y F R O M K O B E	1/27	1	大ホール	1,000
神戸市混声合唱団定期演奏会	3/10	1	中ホール	600
第 11 回 神戸能	3/21	1	中ホール	450
神戸市室内管弦楽団定期演奏会	3/24	1	中ホール	600
神戸文化ホールロビーコンサートシリーズ	年4事業	4	大ホールロビー	520
青春落語道場大倉亭	年4事業	12	大ホールロビー	900
教育普及・育成事業	7事業	20公演		17,300
神戸市PTA協議会文化事業 KOBE☆ファミリーコンサート	4/7	1	大ホール	2,000
能・狂言体験講座	8/2, 3	2	練習場 湊川神社神能殿	40
森優貴ダンスアウトリーチ	8/17, 18	2	神戸市内高校ダンス部	80
神戸文化ホールサマージャンボリー	8/20, 21	1	全館	1,500
劇団四季 ところの劇場	10/16~19	8	大ホール	13,500
日本劇団協議会連携演劇アウトリーチ	12月	2	神戸市内企業	80
第 11 回 神戸能プレイベント	2月	4	大ホールロビー 区民センター	100



事業名	開催時期	公演数	開催会場	入場者数
鑑賞型事業		19事業	34公演	30,630
桂文珍 独演会 JAPA TOUR ～一期一笑～	4/21	2	中ホール	1,100
大野雄二 & ルパンティック・シックス	6/15	1	中ホール	750
歌舞伎鑑賞教室	6/22	2	大ホール	2,600
神尾真由子 & 佐藤卓史 デュオ・リサイタル	6/28	1	中ホール	500
キエフ・クラシック・バレエ	8/12	1	大ホール	1,000
久元祐子 ピアノリサイタル	8/23	1	中ホール	500
ベンチャーズ ジャパン・ツアー 2018	8/31	1	中ホール	600
松竹大歌舞伎 (片岡愛之助)	9/21	2	大ホール	4,000
第44回東西落語名人選	9/23	2	中ホール	1,500
人形劇 三国志	11/11	1	中ホール	450
林修後援会	11月	1	中ホール	700
しまじろうのコンサート	11/23, 24	8	大ホール	12,000
親子のためのオーケストラ ズーラシアンフィルハーモニー管弦楽団演奏会	12/15	1	大ホール	1,600
桂米朝一門会	3/21	1	中ホール	450
大駱駝艦「パラダイス」	3/30	1	中ホール	600
神戸文化ホールキネマ	年4事業	8	中ホール	2,280
神戸文化ホール公演事業合計		48事業	86公演	62,170

## 4 神戸文化ホール貸館・管理事業

### (1) 事業方針

- ・弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供
- ・施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営
- ・文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援
- ・基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

### (2) 事業内容

- ① 年中無休、早朝仕込み・深夜撤収など、ニーズに応じた弾力的な運用を継続する。
- ② 舞台スタッフによる専門性の高い舞台運営、ホスピタリティ溢れるホール運営で利用者をサポートする。
- ③ 利用後のアンケートや「お客様の声 BOX」でいただいたご意見・ご要望をもとに、ホール運営全般の改善に努める。
- ④ 抽選会における優先利用制度や練習利用の割引料金制度による地元芸術団体、若手芸術家の活動支援を継続する。
- ⑤ 設備全般にわたる日常的な点検の実施、不良箇所への速やかな対処に努め、市の公共基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営を行なうとともに、市と連携して施設改善を図る。

## 5 神戸アートビレッジセンター（KAVC）公演等事業

### （1）事業方針

- ・先進的・実験性のある事業の実施
- ・アートの世界への入り口となるワークショップや講座の実施
- ・市内外の文化施設や教育機関等との交流・連携
- ・まちの賑わい及び活性化への寄与

### （2）事業内容

#### ① 演劇・舞踊事業

舞台芸術プログラム・ディレクターとしてウォーリー木下を迎え、演劇などの若手カンパニー等と一緒に、施設全館を使って、ジャンルを横断する試みである「KAVC アートジャック」と、ワークショップ&トークのシリーズ企画「KAVC 東西演劇人 Play & Session」を行い、舞台芸術を志す若者あるいは愛好家が集う、情報交換の場を目指す。

また、地域を巻き込んだダンス企画の実施や、高校生を対象にした演劇ワークショップ Go! Go! High School Project と、その卒業生による劇団エクステのサポートを行う。

#### ② 美術事業

今年度は若手支援企画「Ifloor」に替え、中堅作家を対象にした公募企画「ART LEAP」を開催する。第1回は美術評論家の建畠哲を審査員に迎え、ギャラリーのほか、地下1階シアターやスタジオなどでインスタレーションや映像、パフォーマンス等の企画を実施する。

また、シルクスクリーンの楽しさを広めることを目的に、シルクスクリーンの技法本「###（メッシュ）」第4号及び第5号を、前年度から引き続き発刊する。

#### ③ 映像事業

大手シネコンでは上映されないが、質の高い映画を上映するアート系シアターとして、1か月につき2週間4～5作品を目安に新作上映を行う。平成30年度は世界一流の演劇作品を映像として見せる「英国ナショナルシアターライブ」を偶数月に行い、作品に関連した短期講座を実施する。また、「淀川長治メモリアル」を引き継ぎ、新開地や元町の単館映画館と連携した地域映画祭「KOBE CINEMA PORT FES」を開催する。

#### ④ 地域事業等

1 room を活用した地域の賑わいづくりに努めるほか、新開地周辺地区まちづくり協議会など地域団体が開催する、新開地夏まつり・冬まつり、土曜マルシェ、新開地音楽祭、新開地映画祭等の事業に協力する。兵庫大開小学校へのアウトリーチ企画「New Open Area」や、阪神間の美術館・博物館と連携する「ミュージアム活用術」など、教育機関・文化施設との連携も引き続き実施する。

また、昨年度より音楽事業として、さまざまな音楽にアーティストとともに向かい合う場としてのシリーズ企画 Music Line “Station” を実施しており、平成30年度は、新開地ミュージックストリート関連企画としてのライブ演奏、音遊びの会&大友良平の演奏会、母と子のためのドラム講座などを開催する。

## (3) 神戸アートビレッジセンター事業一覧

(単位:人)

事業名	開催時期	回数	開催場所	入場者数
演劇・舞踊事業	13事業50公演			5,090
鄭義信「リバウンド」	5月18-20日	4	KAVCホール	300
劇団安住の地(上演作品未定)	6月2-3日	2	1 room	60
劇団赤鬼(上演作品未定)	6月15-17日	3	KAVCホール	450
GERO「家族という名のゲーム」	7月4-7日	2	KAVCホール	200
公共ホール現代ダンス活性化事業	7月19-20日 プレ事業	1	KAVCホール	100
	9月22-24日 ワークショップ	2	リハーサル室	50
	11月21-26日 本公演	1	KAVCホール	150
G-フォレスト「江戸川乱歩」	7月12-15日	3	KAVCホール	450
Go! Go! High School、Project 2019	8月13-26日(26日発表公演)	2	KAVCホール	200
KAVCアートジャック	9月15-16日	6	KAVCホール	1,000
エクステ#4.5(上演作品未定)	9月または10月予定	3	KAVCホール	450
大川興業(上演作品未定)	10月13-14日	2	KAVCホール	300
エクステ#5(上演作品未定)	3月21-24日予定	6	KAVCホール	1,000
ダンスの天地	未定	4	KAVCシアター予定	200
関西演劇会議(仮) ワークショップ2種+トーク1回	未定	9	KAVCシアター予定	180
美術事業	3事業42日間			3,162
A R T L E A P 2 0 1 8	2月23日-3月17日	20	ギャラリー&1Room シアター、スタジオ	3,000
シルクスクリーン印刷技法本「###」	第4号・第5号	-	アトリエ	-
ワークショップ	随時	10	アトリエ、1 room	150
アーティストサポート	随時	12	アトリエ	12
映像事業	4事業143日間525上映回			4,560
KAVCシネマ(月4本×10か月)	通年	480	KAVCシアター	3,840
KOBE CINEMA PORT FES	9月19-24日	18	KAVCシアター	300
特集映画上映	1月予定	15	KAVCシアター	300
関連講座	4月6月8月	12	会議室ほか	120
音楽事業	4事業4公演			320
新開地ミュージックストリート関連企画	5月13日	1	KAVCホール	180
Music Line "Station" 母と子のドラム講座	6月予定	1	KAVCホール	10
Music Line "Station" with 音遊びの会	10月21日	1	KAVCホール	100
Music Line "Station" ワークショップ	未定	1	会議室、1 room他	30
地域事業・その他	7事業43公演			1,820
ジャズ・ヴォーカル・クイーンコンテスト	5月12日	1	KAVCホール	200
新開地夏まつり、冬まつり	8月4-5日、12月1-2日	4	新開地商店街	300
NEW OPEN AREA 2019	2月2-11日予定	12	KAVCギャラリー	250
アート・サロン	随時	6	1 room、会議室	120
地域事業ワークショップなど	随時	10	1 room	150
土曜マルシェ	毎月第2土曜日	10	1 room	800
KAVC自主事業合計	29事業 664公演/日間			14,952

## 6 神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業

### (1) 事業方針

- ・柔軟な施設運営と専門性の高いサービスの提供
- ・若手芸術家の支援及び地元地域団体との協働
- ・複合文化施設にふさわしい安全・安心な管理運営

### (2) 事業内容

#### ① 柔軟な施設運営と専門性の高いサービスの提供

早朝・深夜の仕込み・撤収など、開館時間内に収まらない場合も、必要に応じて柔軟に対応する。

また、小劇場ならではの柔軟な貸館対応、専門性の高いサービスを提供していく。また、アンケート調査などを通して、利用者等の意見収集に努め、施設運営全般の改善に生かしていく。

施設利用者に向けた無料のWi-Fiスポットの提供を行い、利便性を高め、より高いサービスの向上を目指す。また、練習から発表までを補える複合文化施設の特徴を生かして多様な文化活動を支援し、幅広い客層を取り込むことで、地域の賑わいづくりに繋げていく。

#### ② 若手芸術家の支援及び地元地域団体との協働

旗揚げ公演や学生劇団（サークル）などの、発表経験の少ない団体への活動支援として、専門スタッフによる打合せ・相談・アドバイスなど積極的にサポートができる体制を整えるとともに、1 roomでのチラシ設置や、神戸アートビレッジセンターの公式サイト内での公演紹介等、広報協力を行う。

地域団体との協働で新開地周辺の活性化事業に積極的に関わり、施設利用料金の減免などを行う。

#### ③ 複合文化施設にふさわしい安全・安心な管理運営

設備全般にわたる日常的な点検の実施、不良箇所への速やかな対処に努める。神戸アートビレッジセンターは開館後20年以上経過しており、老朽化による不具合も増えてくることから、小修繕による施設・設備の長寿命化を図りつつ、安全・安心な管理運営を行なう。また、LED照明やセンサー照明等の省エネ設備への積極的な投資を行う。

## 7 区民センター講座・地域連携事業

### (1) 事業方針

- ・「地域住民とともに歩む区民センター」として市民の文化活動ニーズに対応
- ・講座事業や地域連携事業の実施
- ・「区民センターサポーター」などによる事業運営への住民参画
- ・財団が有する文化事業運営ノウハウや、文化団体との人的ネットワークを活用

### (2) 事業内容

#### ① 講座事業

春季・秋季の「定例講座」として入門者・初心者対象の文化・教養・スポーツなどの講座を、また季節や住民ニーズなどを反映する「随時講座」を年間通じて開講する。一方、受講率の低い講座の見直しや講師報酬への歩合制の導入などにより収支改善に努めるとともに、伝統芸能等公益財団法人として取り組む必要のある講座にも配慮しつつ受講者数の拡大を図る。

#### ② 地域連携事業（地域住民参加型のイベント及び地域文化活性化事業）

各センターの特色を生かした住民参加型の事業に取り組むとともに、「だんじり」や「須磨琴」など地域の伝統文化や歴史を生かした事業を実施する。

また、「神戸能プレイベント」など神戸文化ホールとの連携事業を実施するほか、地域の保育所等に演奏家が赴くアウトリーチ等、地域の文化振興のための中核施設にふさわしい管理運営を行う。

また「市民の第九」では、勤労市民センターと区民センターの合唱団員で合同練習を経て本番公演行うなど（公財）神戸いきいき勤労財団（勤労市民センター）との連携にも取り組んでいく。

#### ※地域文化活性化事業の例

東灘：はじめてのクラシック♪親子コンサート

北：すずらんホール農村歌舞伎

北神：みんなでワイワイチャリティコンサート

須磨：須磨フィルファミリーコンサート

西：なでしこダンスフェスティバル など

#### ③ 作品展示会・発表会

区民センターのギャラリーやロビー、ホール及び花時計ギャラリーにおいて、講座受講生をはじめとする市民の絵画、陶芸、写真などの作品展示会や舞踊、音楽等の発表会を実施する。

## 8 区民センター貸館・管理事業

### (1) 事業方針

- ・サービスと利便性の向上、利用促進のための料金割引制度、利用団体への広報・相談サポート提供、積極的な広報活動等の実施
- ・長年培ったノウハウの活用による、安全・安心で快適な利用環境の提供

### (2) 事業内容

#### ① サービスと利便性の向上

例：休館日の祝日開館、インターネット予約受付、インターネット無料接続サービスの提供、利用料金の割引対象拡充など

#### ② 地域文化団体との連携強化による情報発信や運営サポート支援

例：地域文化団体の利用料金割引拡充、貸館利用団体専用掲示板設置など

#### ③ 積極的な貸館セールス

例：「区民センターだより」発行、「友の会」・ホームページの活用

#### ④ 省エネルギーや環境を意識した設備管理

例：節電、環境保護の取り組みの日常業務への組み入れ

## 9 情報提供・広報

財団事業の市民への周知、芸術文化への市民参加の機会拡充、財団の収益向上などの観点から、広報体制を確立するとともに、メディアの活用など多様な手段により、これまで以上に積極的な広報PRに努める。

### (1) 文化情報誌 「KOBE C情報」の発行(50,000部/月)

市内及び近隣都市の文化に関する各種情報を市民に提供するため、月刊誌「KOBE C情報」を発行し、市営地下鉄・私鉄の各駅や、区民センター・区役所など市内外で幅広く配付する。

### (2) 神戸文化ホールからの情報発信強化

神戸文化ホールの情報発信機能の充実を図るため、情報誌「ほーるめいと」を発行(18,000部/隔月)している。これまでのメールマガジンの発行及び友の会運営について見直しを図り、登録者を増やすことで新規集客につなげる。

### (3) 区民センターからの情報発信強化

区民センターの情報発信機能の充実を図るため、チラシやホームページでの情報提供のほか、ポスティング、区民センターだよりの発行、友の会運営に取り組む。

### (4) 神戸アートビレッジセンターの情報発信強化

情報発信機能を充実、強化するため、チラシやホームページ、SNSなど幅広い広報PRに努める。また広報誌「ART VILLAGE VOICE」の発行(季刊発行)、友の会「かぶっクラブ」の運営、施設サポーターの運営、神戸市内の文化施設との連携、ポスティングなど地域や他施設への定期的な情報発信に取り組む。

### (5) インターネットによる情報発信

当財団が主催する主要事業などを幅広く紹介するとともに、管理している各施設の空室情報や講座の受講申込み、各種情報誌の内容をホームページに掲載する。

また、ツイッターやフェイスブック、インスタグラムなど多様なSNSを活用したりリアルタイムの情報発信に積極的に取り組むとともに、動画共有サイト等による事業広報を展開する。

### (6) 広報PRの強化

財団事業を総合的かつ横断的にプロモーションし、公演の入場者数や入場料収入の増加につなげていく。

また、話題性の高いコラボレーション番組の共同制作・放映、ラジオ番組作成、各種資料提供などマスコミを活用した情報発信に積極的に取り組む。



## <収益事業>

### (1) 神戸文化ホール貸館・管理事業

神戸文化ホールにおいて、コンベンションなど文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。また自動販売機設置や駐車場など神戸文化ホール利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール	: 2043 席
	中ホール	: 904 席
	リハーサル室	: 150 名
	練習室 1~5	: 15 名~150 名
	多目的室・特別控室	
	自動販売機	: 7 台
	駐車場 (神戸文化ホール練習場)	: 10 台

### (2) 神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業

芸術文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。また自動販売機設置を行うほか、飲食店舗「はっちゃんの台所」など利用者へのサービス向上と地域の賑わいづくりにつながる 1 room の活用を行う。

※施設概要	多目的ホール	: 232 席
	視聴覚ホール	: 94 席
	ギャラリー	: 148 m <sup>2</sup>
	リハーサル室 1~2	: 120 m <sup>2</sup> ~189 m <sup>2</sup>
	会議室 1~2、スタジオ 1~3、1room 等	
	自動販売機	: 4 台

### (3) 区民センター講座・地域連携事業

当財団が指定管理者として管理運営する 7 区民センターにおいて、美容・スポーツなどの文化振興目的以外で利用者ニーズの高い講座や自主事業を開催する。

※例 講座：健康体操、スポーツ吹矢、バドミントン、卓球など  
自主事業：コミュニティフェスティバル、卓球大会など

### (4) 区民センター貸館・管理事業

指定管理者である区民センターにおいて、イベントなど文化活動以外を目的とする活動の場を提供する。また自動販売機設置や駐車場等区民センター利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール	
	会議室、多目的室	
	和室・音楽室・美術室・陶芸室等	
	自動販売機	: 18 台
	駐車場 (北神区民センター)	: 123 台

## <法人管理運営事業>

### (1) 専門性の強化・人材育成

芸術文化事業についての研修等の充実を図り、職員の知識の向上及び専門性の強化など人材育成に努めるとともに、優秀な職員を固有職員として登用する。

### (2) 効率的な執行体制

神戸市室内管弦楽団及び神戸市混声合唱団の幅広い活動や神戸アートビレッジセンターの指定管理者としての2年目を迎えたこと、さらには「(仮称)神戸冬の音楽祭」や「(仮称)市街地西部芸術祭」などの新規事業の立ち上げなど、当財団事業範囲が広がっているなかで、今まで以上に事業間の連携や事業執行の効率化、専門性の向上が必要となっていることから、財団組織を改正し、効率的な執行体制を確立する。

### (3) 経営基盤の強化

「中期経営計画 2021」で定めた目標の実現に向け、事業を着実に実施していくためには、経営の安定が必須であることから、事業収入の確保のほか、公的及び民間団体からの助成金の獲得、税制優遇制度を活用した寄附など外部資金の獲得に向けて、これまで以上に力を入れて取り組む。

また、事業の休廃止を含め、事務事業にかかる経費の徹底的な見直しを進める。

### (4) KEMS ステップ2の活動

環境負荷低減を図り、神戸環境マネジメントシステム (KEMS) ステップ2の認証に基づく取り組みを着実に実施する。

### (5) 資金調達及び設備投資

資金調達及び設備投資について実施の見込みはなし。